

第3回「虐待対応専門職チーム」経験交流会

開催目的

虐待対応専門職チームの10年間の活動実績を振り返り、アドバイザー（助言者）としての立ち位置を確認するとともに、個別ケースへの助言を中心とした活動経験についての情報交換を通じ、各地域における活動の推進を図り、自治体の対応力向上に向けた一層の支援につなげることを目的に、第3回虐待対応専門職チーム経験交流会を開催します。

- 1 日時：2017年9月16日（土）12時30分～17時00分
- 2 会場：弁護士会館講堂クレオ（〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-1-3）
＜アクセス＞ 地下鉄丸の内、日比谷、千代田線 霞ヶ関駅B1-b出口より直通
地下鉄有楽町線桜田門駅5番出口より徒歩8分
地下鉄三田線日比谷駅日比谷公園を通り徒歩8分
- 3 プログラム：別紙
- 4 対象：弁護士・社会福祉士（都道府県社会福祉士の会員）
- 5 会場定員：最大300名
- 6 参加費：無料（旅費・宿泊費の支給はありません）
- 7 懇親会：泰南飯店 日比谷店（千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルB1）参加費5,000円
※懇親会にお申込みの方は、当日受付にて参加費をお支払いください。
※懇親会の追加、キャンセルは、9月12日（火）までにご連絡ください。
9月12日（火）以降の懇親会の追加・キャンセルは原則お受けできませんのでご注意ください。
- 8 昼食・宿泊：必要に応じ自己手配をお願いします。
（会場内での飲食はできませんので、各自済ませてからお越し下さい）
- 9 申込方法：都道府県社会福祉士会において社会福祉士の推薦者を取りまとめ、所定の「参加届」に必要事項をご記入の上、郵便、FAXまたはE-mailにてお申込みください。（FAX・E-mailの場合は原本の送付は不要です）
※日本弁護士連合会から単位弁護士会へも本交流会についてご案内しています。弁護士の参加者は、弁護士会経由でお申込みいただきます。
- 10 申込期限：2017年8月1日（火）※期日までに調整が難しい場合はご相談ください。
- 11 主催：日本弁護士連合会・日本社会福祉士会
- 12 備考：本交流会の参加が難しい場合のみ、都道府県社会福祉士会へE-mail等にてご連絡いたします。（参加決定通知は発行しません）

第3回「虐待対応専門職チーム」経験交流会 プログラム(予定)

時間(分)	内容	
12:00～	受付	
12:30～12:35	①開会挨拶	山崎 智美 氏 (日本社会福祉士会 副会長)
12:35～13:15 (40分)	②講演	「高齢者虐待対応の実態と虐待対応専門職チームへの期待」 鶴嶋 保明 氏 (厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐) 「障害者虐待対応の実態と虐待対応専門職チームへの期待」 片桐 公彦 氏 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 虐待防止専門官・障害福祉専門官)
13:15～13:30 (15分)	③共同報告	虐待対応専門職チーム設立後10年間の活動報告と課題 今井 昭二 氏 (日本社会福祉士会 ばあとなあ運営協議会担当理事) 坂下 宗生 氏 (日弁連 高齢者・障害者権利支援センター副センター長)
	休憩 (10分)	
13:40～16:55 (195分) ※途中休憩 10分	④パネルディスカッション	①高齢者虐待にかかる専門職チームの活用と今後の方向性 (95分) 【メンバー】 ○コーディネーター 今井 昭二 氏 (前掲) ○パネリスト i) 専門職チーム (調整中) 弁護士 / 社会福祉士 ii) ユーザー (行政) 南澤 保徳 氏 (長野県 山形村 保健福祉課) 栗柳 弘也 氏 (和歌山県 福祉保健部 長寿社会課) ○コメンテーター 鶴嶋 保明 氏 (前掲) ②障害者虐待にかかる専門職チームの活用と今後の方向性 (90分) 【メンバー】 ○コーディネーター 小山 操子 氏 (日弁連 高齢者・障害者権利支援センター第1部会長) ○パネリスト i) 専門職チーム (調整中) 弁護士 / 社会福祉士 ii) ユーザー (行政) 黒田 暁子 氏 (大阪市 福祉局 生活福祉部 地域福祉課) 戸部 太貴 氏 (群馬県 健康福祉部 障害政策課) ○コメンテーター 片桐 公彦 氏 (前掲)
16:55～17:00	⑤閉会挨拶	青木 佳史 (日弁連 高齢者・障害者権利支援センター センター長)
17:30～19:30	懇親会	(希望者のみ)